

原発再稼働容認撤回、万全な避難態勢、市民本位の医療構想、暮らし支える物価対策など48項目を要望

1月9日 小菅淳一市長に2026年度予算などの要望を提出



市民からの声を集約して市長に

先週号で紹介した通り、日本共産党上越地区委員会と党議員団は9日、小菅淳一市長宛に来年度予算と今年度補正予算の編成、それに重要な政治行動に関する要望書を手渡しました。この要望は、どの項目もこれまでに市民のみなさんから寄せられた切実な願いを集約したものです。

手渡した後、議員団3人はそれぞれの立場で特に力を入れてほしいことについて強調しました。

市長はそれに対して、「しっかり読んで、予算編成に臨みます」と答えましたが、要望書に目を通しての具体的な感想は述べませんでした。

要望項目の主なものは次の通りです。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.895 2026年1月18日

連絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先駆 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
(事務局長) 山本信子 090-4967-0367 (仲町2(高田区))
ホームページ <https://jcpressoetsudiet.jimdosite.com/>

1. 危険な原発、自然災害、各種感染症など、あらゆる脅威から市民の安全を確実に守るためにの取組

◇ 柏崎刈羽原発の再稼働容認をすぐに撤回するよう知事に強く求めること。

◇ 震災、豪雨、豪雪などとの複合災害に対応し、全ての市民が被曝なしに避難できる計画を整備すること。

◇ 指定避難所での実際の開設訓練を実施すること。

◇ 豪雪時の災害救助法適用を柔軟に行うこと。

2. 市民の命と健康の守り手である医療機関・施設を確実に守り充実させるための取組

◇ 地理的条件や経済的理由などを勘案した本来の医療ニーズの検証を行い、そのニーズに応じた医療資源を充実させること。

◇ 健康保険料と窓口での患者の負担を減らすこと。

◇ 労災病院を存続させ総合病院として充実させるよう当局に求めること。

◇ センター病院の建て替えは年度内に補正予算を組んで着手すること。

3. 物価高騰と国の悪政から市民を守る取組

◇ 低所得層と準低所得層(夫婦+子ども2人世帯で年収400万円以下程度)に一時金の支給を市独自に行うこと。

◇ ガス・上下水道料金、国保税と介護保険料を引き下げる。

◇ 学校給食費を、中学校を含めて完全無料にすること。

◇ 介護スタッフの待遇改善を図ること。

◇ マイナンバーカードの保険証機能の解除の受付を積極的に進めること。

4. 市民生活を豊かにする取組

◇ 運転免許証返納者への「タクシー券の配付」などの取組を復活、継続すること。

◇ 市内の隅々をくまなく走る乗合小型バスを、100円程度の運賃で運行すること。

◇ 各駅の駐輪場に屋根を設置すること。

◇ 踏切を総点検し、拡幅すること。

◇ 通学路に歩道を設置すること。

◇ 公共施設の利用料を引き下げる。

◇ ブラック企業の撲滅を図ること。

◇ 防犯灯の地元負担をなくし、設置、維持・修繕も公費で負担すること。

◇ 学校と公共施設のトイレ個室に生理用品を配置すること。

◇ 市職員の性別賃金格差を解消すること。

◇ セクシュアルマイノリティーへの差別や偏見を防止する取組を強めること。

◆ 要望書全文は、党議員団の

ホームページをご覧ください。

<https://jcpressoetsudiet.jimdosite.com/>



高市政権 解散は党利党略

高市首相が通常国会の冒頭での衆議院解散を狙っていると報道されています。

これは、高い内閣支持率を好機としていますが、ベネズエラ問題でトランプ大統領の国際法違反に対する態度を表明できること、日中関係の悪化とその打開策を打ち出せないこと、統一協会との新たな疑惑が取りざたされていることなどの問題が国会論戦に耐えられないことから、それを避けるために解散に逃げ込もうとしているのが実態です。まさに党利党略です。

排外主義とは何か どう闘うか

たつみコータロー衆院議員の講演から その7

第5条の「国民の要件」にはびっくりします。まず第2項は「国民は子孫のために日本を守る義務を負う」となっています。徴兵制がちらつくような文言です。

そして、第1項は「父母いずれかが日本

人で、日本語を母国語とし、日本を大切にする心を有することを基準として法律で定める」と書いてあります。すごいですね。日本を大切にする心があるかどうかは、誰が判断するんでしょうか。なお、帰化した

日本国民については、その孫の世代まで公務就任を認めない、おじいちゃんが帰化したのであれば、政治家にも公務員にもならないということです。

ものすごい憲法草案です。反動的で、復古主義的。これが参政党だということを、ぜひ知っていただきたいと思います。